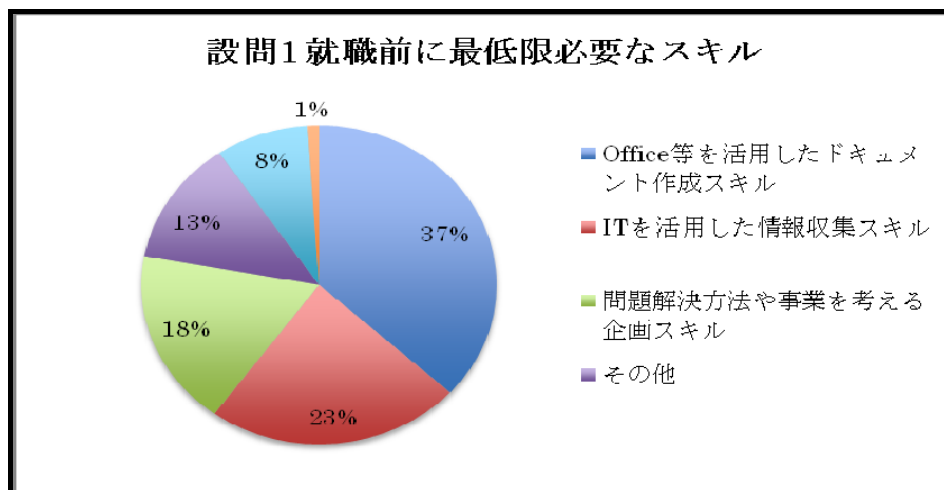


「WDLC 会員企業 人事採用担当者向け調査結果」

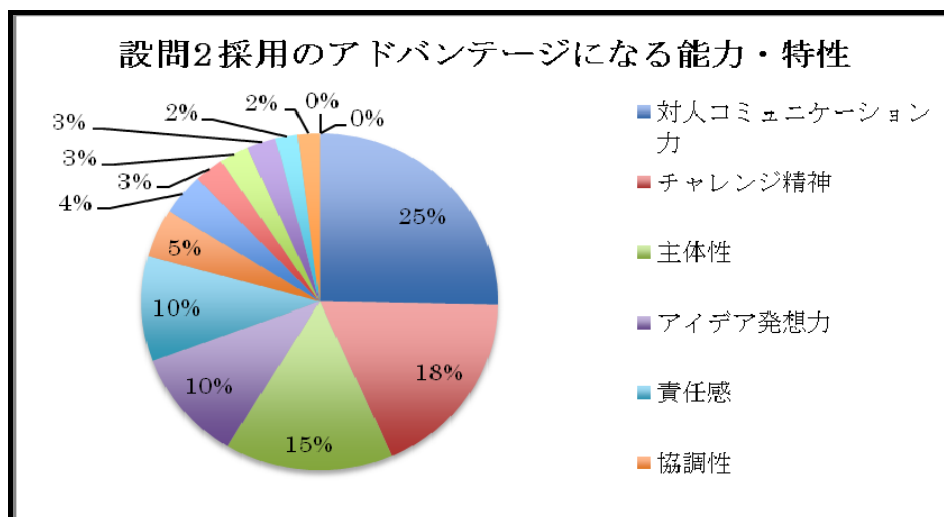
- ◎ 調査期間：2011年11月2日～11月25日
- ◎ 調査方法：直接アンケート調査
- ◎ 調査対象：WDLC 会員企業 人事採用担当者
<http://www.wdlic.jp/member/company.html>
- ◎ 回答数：50社（50名）

【設問1】新卒者が既に身につけていて当然と考える最低限のスキルや資格は何ですか？（上位2つ回答）



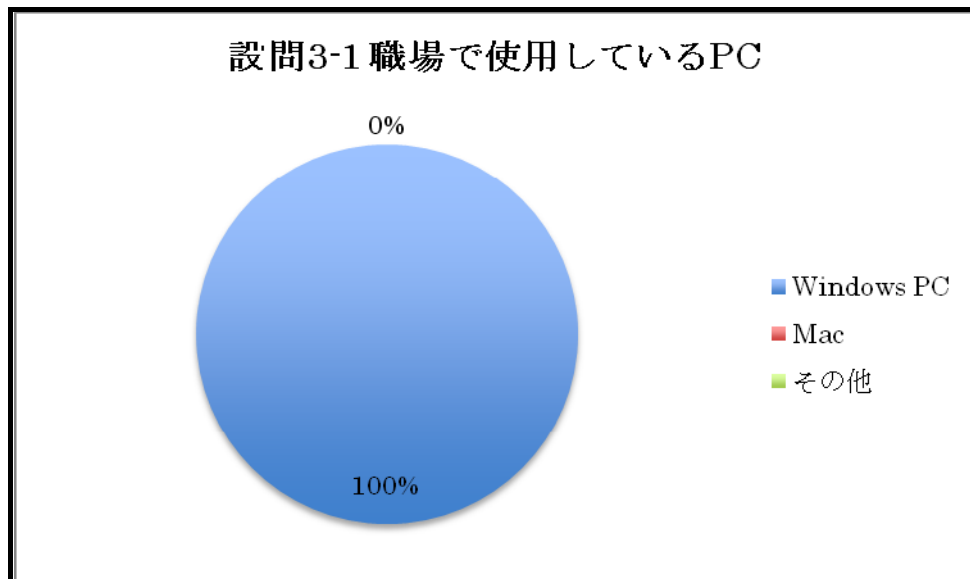
どの会社においても PC・Office のスキル、インターネットの情報種集スキルは必須であり、普段から扱いに慣れている必要があるというのが主な理由だった。

【設問2】新卒採用検討にあたり、アドバンテージとなる能力や特性は何ですか？（上位3つ回答）



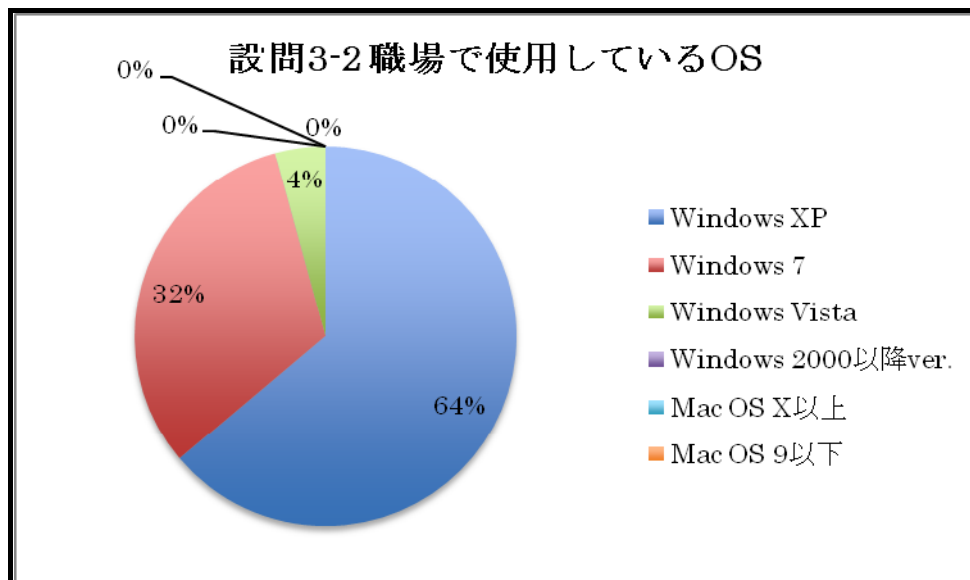
一方、新卒採用時にアドバンテージになるのはFace to Faceの対人コミュニケーション力やチャレンジ精神など、積極性を求める回答が多かった。ツールとしてのICTスキルを必須としながらも、リアルな対話能力が求められている事がうかがえる。

【設問3-1】 貴社内でもっとも活用されているコンピュータの種類は何ですか？（いずれか1つ）



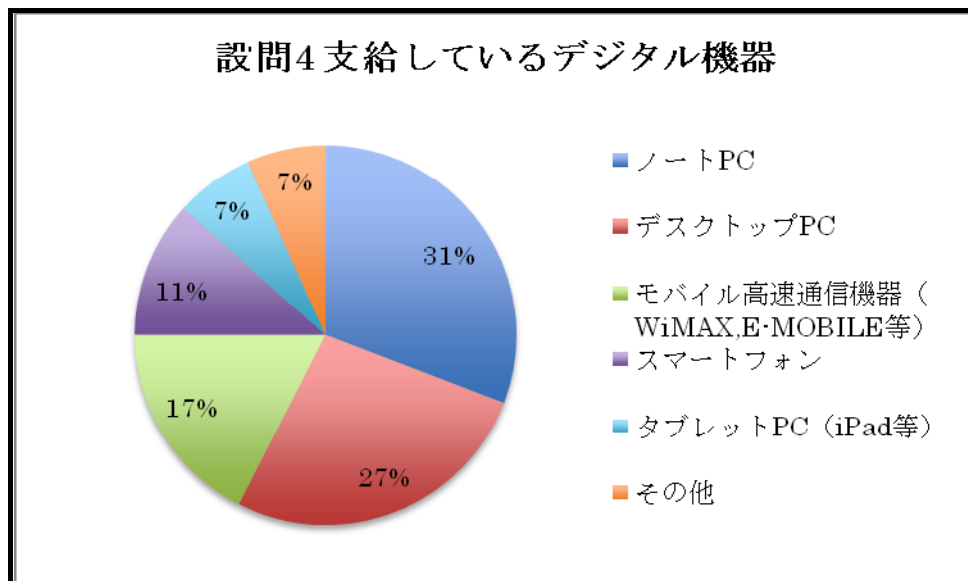
今回、回答した企業ではWindows PCが100%という結果に。ビジネスユースのスタンダードPCとしての強さを見せた。

【設問3-2】 OSの種類を教えてください。（いずれか1つ）



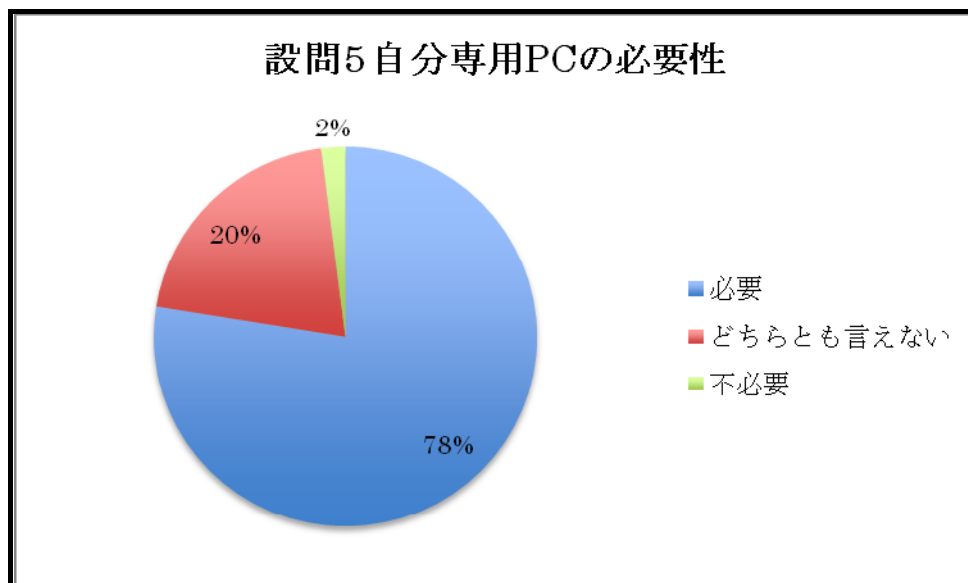
未だWindows XPを使用している職場が圧倒的ではあるが、2014年のサポート終了を控え、新規導入においてはWindows 7がほとんどでシェアを伸ばしている。

【設問4】 貴社では社員に対してデジタル機器の支給はありますか？（複数回答可）



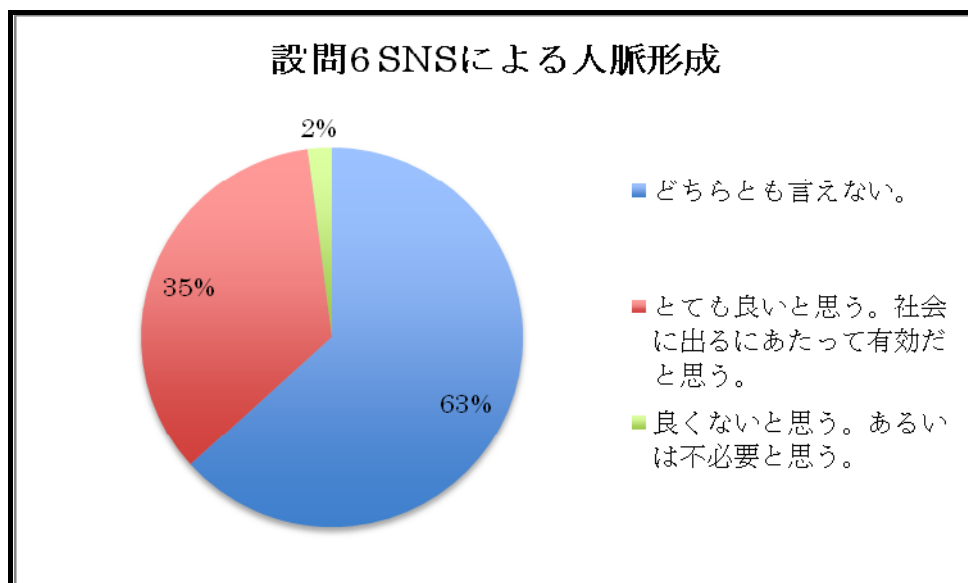
ノートPCとモバイル高速通信機器を合わせて支給する企業が増加。
より機動的なワークスタイルへシフトしていることが伺える。

【設問5】 会社支給の有無に関わらず社会人にとって自分専用PCは必要と思われますか？



情報収集、コミュニケーションツールのひとつとして有効。スマホ・携帯電話のみでは現状まだ不足という声、日頃からタイムリーな情報収集が必須という声が目立った。

【設問6】Twitter, Facebook 等、SNS を活用した学生の社会との接触・人脈形成が盛んになってきていますが、それら事象に対する印象を教えてください。



直接のコミュニケーションとの併用が必要、情報を受け取る側のリテラシーも求められる、など、便利ではあるが使い方次第という回答が目立った。

【設問7】新社会人にやっておいてほしい事、メッセージ。 (※抜粋)

● PC メーカー

今だからこそできる、いろいろなことを体感してください。

様々なコミュニケーションツールで情報が溢れかえっていますが、その中で収集した情報を基に、是非自分の眼で見て、触れて、身体で感じてください。

「百聞は一見にしかず」知識・情報ではなく、実体験こそが、お客様の目線に繋がります。

● PC 周辺機器メーカー

今の社会人に求められる必須要素の一つが文書でのコミュニケーション能力であり、メールでの社内外への連絡を含めた、告知、交渉、プレゼンなどの文書等の作成スキル（他者配慮等も含め）が入社と同時に必要とされるので、新聞等に目を通して分かりやすく書く手法など、表現力を磨いておいて欲しい。（NET記事より新聞の方がカテゴリの網羅性があり、一般的には記事に対して多くの人の目が通った結果が掲載されている）

● 放送

古臭いようですが、今だからこそ「リア充」しかない。そして、それを人にキチンと語れる力、人の話を聞く力をつけてほしい。「コミュニケーション能力」なんていう言葉に惑わされず、「受け入れられるか」なんて気にせず、自分のことを語り、また人を受け入れる人であって欲しい。あと、キーボードではなく鉛筆で自分のことを伝える力も。

● 出版

現実問題、会社の業務のほとんどは、PCを使った業務となります。一般情報であれ、自分の業務に関わる情報であれ、まずは一次情報源としてインターネットに当たるのは常識だと思われます。ゆえに、「情報検索」のやり方・考え方をしっかりと確立しておくことは、アドバンテージを持つと思います。

同様に、PCでおこなう事務作業のほとんどは、Office ソフトを使用して行います。職種によって使うソフトは違ってきますが、ワード、エクセル、パワーポイントを入社当初から使えることは、最初の印象付けという意味では、大きなアドバンテージになるのではないのでしょうか。

● 情報通信

小学生からインターネットに触れて成長してきた世代は、なんでも検索することで、「前例」や「模範解答」を簡単に得ることができるので何が正しいのか考える前に「正解探し」してしまう特徴があります。よって、成功しても「人のおかげ」、失敗しても「他人のせい」と感じてしまうのが気の毒に感じます。

ネットを含め様々なメディアから情報を仕入れその情報とうまく距離感を保ちつつ、自分で考えて行動して成功する、失敗する体験を繰り返して欲しいです。自分で考えて動いたことであれば、結果に関わらず身になるのではと思います。

【報道機関からの問合せ先】

キャンペーン事務局 担当：浅川

電話：090-4731-3004、E-mail: asakawa@3pc.co.jp